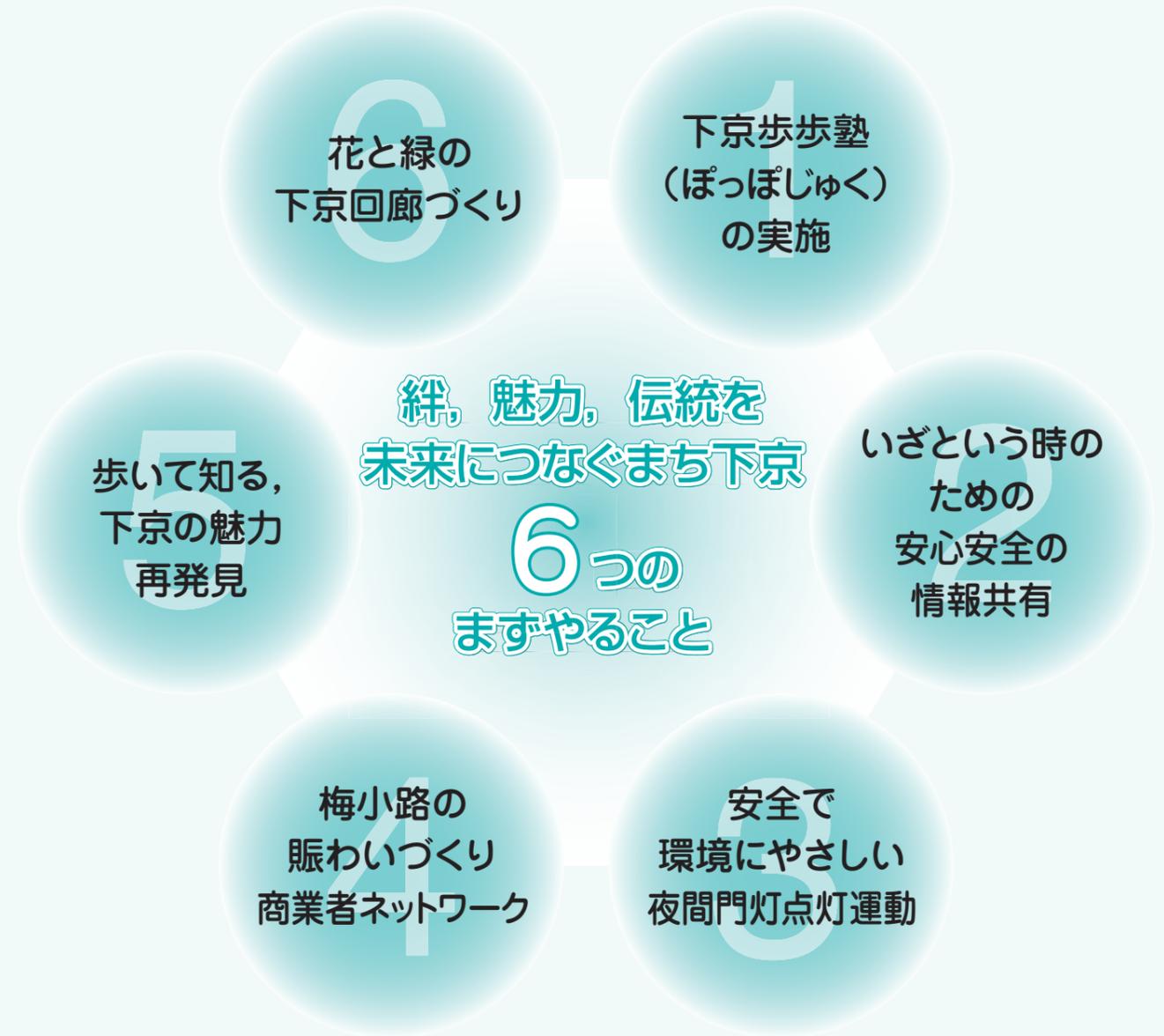


6. まずやること

「テーマごとの取組」の推進に向け、テーマを横断し、前期において区民主体で重点的に進める取組として次の6つをっかけ、区民、団体、事業者、行政など、下京区のまちづくりに関わるあらゆる人々が手を携えて実行していきます。



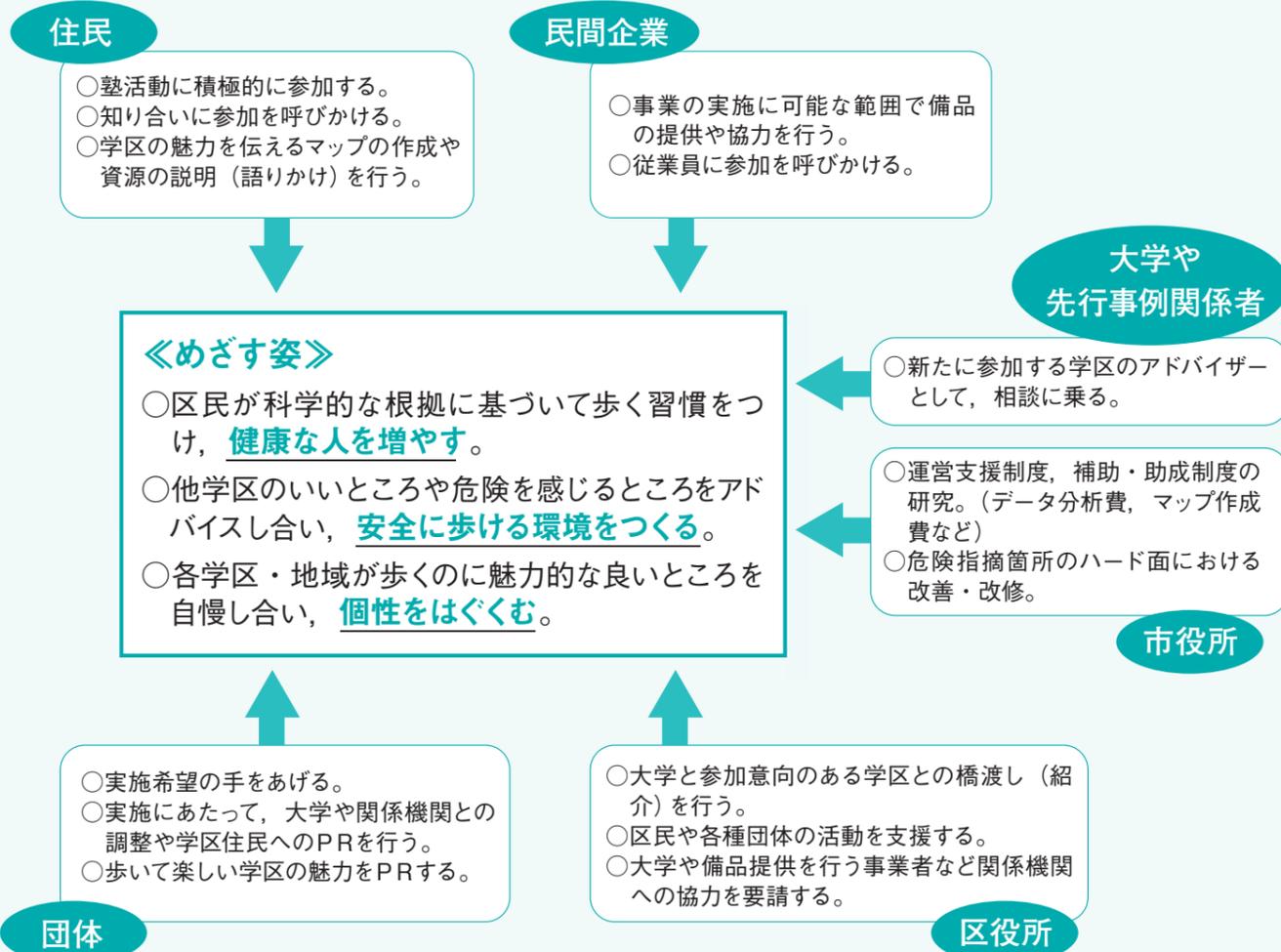
まずやること1

下京歩歩塾（ぽっぽじゅく）の実施

絆		魅力		伝統	
健康	安心	安全	活力	個性	エコ 人材

- 有隣学区で取り組んでいる「ゆうりん歩歩塾」を参考に、地域ぐるみでのウォーキングによる健康づくり活動を下京区全体で展開していきます。
- 大学や民間企業と連携することで、健康に関するデータをとって、正しいウォーキングを広げていきます。
- マップ（歩数付お勧めルート、歴史・文化資源や自然、お店紹介など）をつくるなど、各学区の創意で楽しく歩ける工夫をします。

だれが何をするか



当面の進め方

●自ら進んで「歩いて健康になろう」という人に、活動を始めるきっかけや情報を提供しながら取組を進めます。

- 各学区や団体のリーダー役の育成
- 大学研究者（指導役）、協力企業（歩数計の貸出など）との話し合い
- 各学区や団体を通じたモデル事例の情報発信による啓発・PR

運動目標

「一日一万歩以上歩く日をつくろう！」

参考事例 ゆうりん歩歩塾（ぽっぽじゅく）

●学区を健康づくり拠点に
有隣学区社会福祉協議会と有隣年寿クラブが中心となって、同志社大学スポーツ健康科学部の石井好二郎教授（運動処方論）の指導のもと、2008（平成20）年12月に始めた取組。

この取組は「地域活動の基盤として住民を結んできた京都独自の『学区』を健康増進の拠点に活用できないか」との石井教授の提案から始まった。

●科学的根拠に基づく健康づくり

塾生は歩数計を身につけ、毎月、元有隣小で記録を行う。取組の前後で骨や血管などの「体力年齢」を調べ、同志社大学生命医科学部の米井嘉一教授が運動効果を評価する。学区と大学という京都の財産を生かし、住民たちが効果（科学的な検証）を実感しながら健康増進を図るモデル的試みとなっている。

大学側は歩数や体調を基に個別に目標歩数を設定、東海道や山陽道に換算するとどこまで歩いたかを示す地図を配るなど楽しく続ける工夫を凝らすほか、学生が運動面の助言など住民と大学を結ぶ役目を担うことで教育効果も期待されている。

2009（平成21）年4月末までの第1期は参加者（塾生）にも好評で、ほとんど脱落者もなく、一日平均歩数の増加や平均血管年齢が若くなるという効果も現れ、さらに活動を継続している。

健康のために
歩こう！！



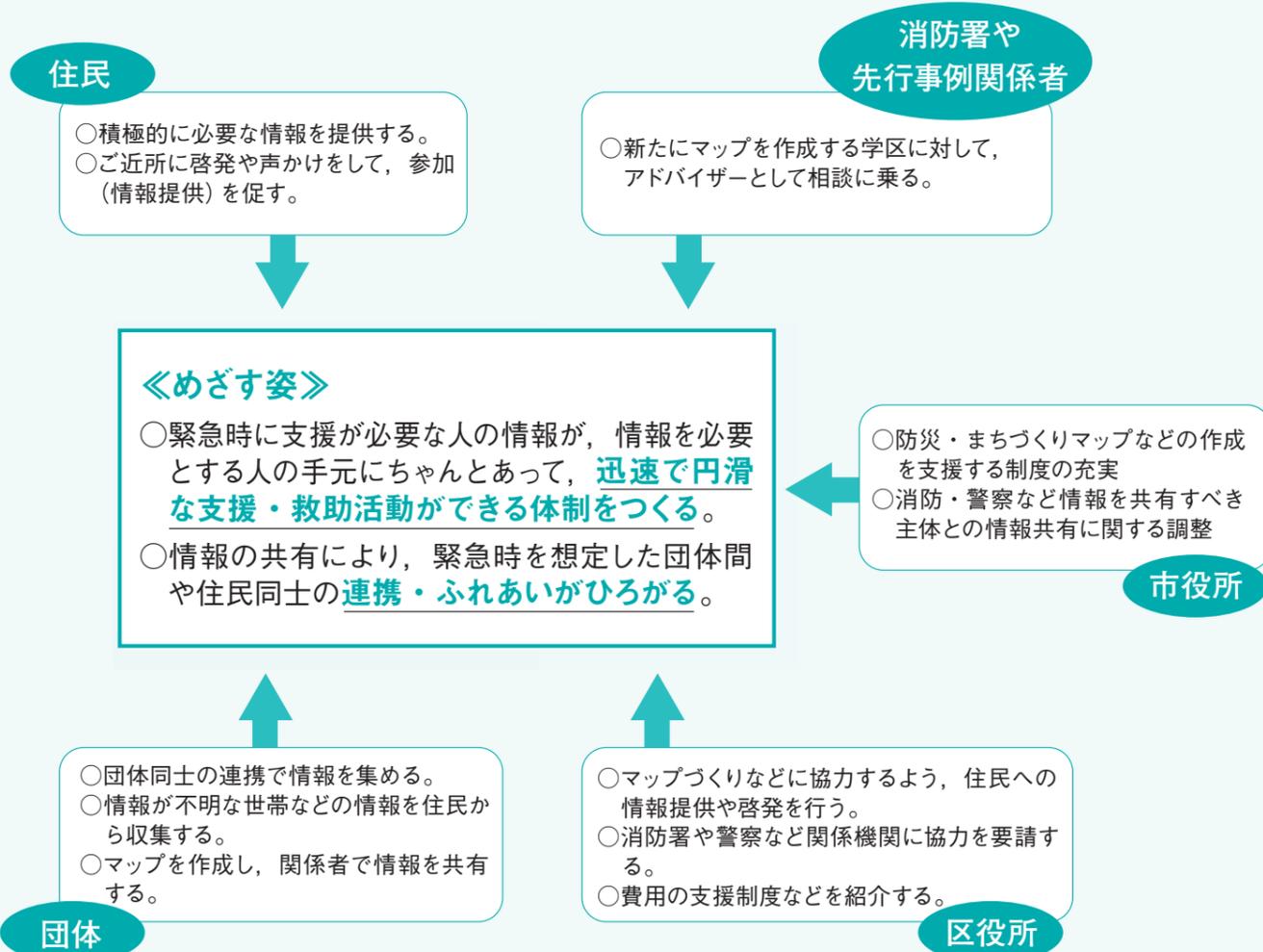
まずやること2

いざという時のための安心安全の情報共有

絆			魅力		伝統	
健康	安心	安全	活力	個性	エコ	人材

- 災害時の避難などに支援が必要な単身高齢者や高齢夫婦世帯などの情報を学区や町内単位で把握し、非常時に迅速な対応を進めます。
- 関係する各種団体や住民が協力することで、実態に即した情報を集めていきます。
- 高齢者のいる世帯からも積極的に協力を得られるよう、情報提供や啓発も合わせて進めます。

だれが何をするか



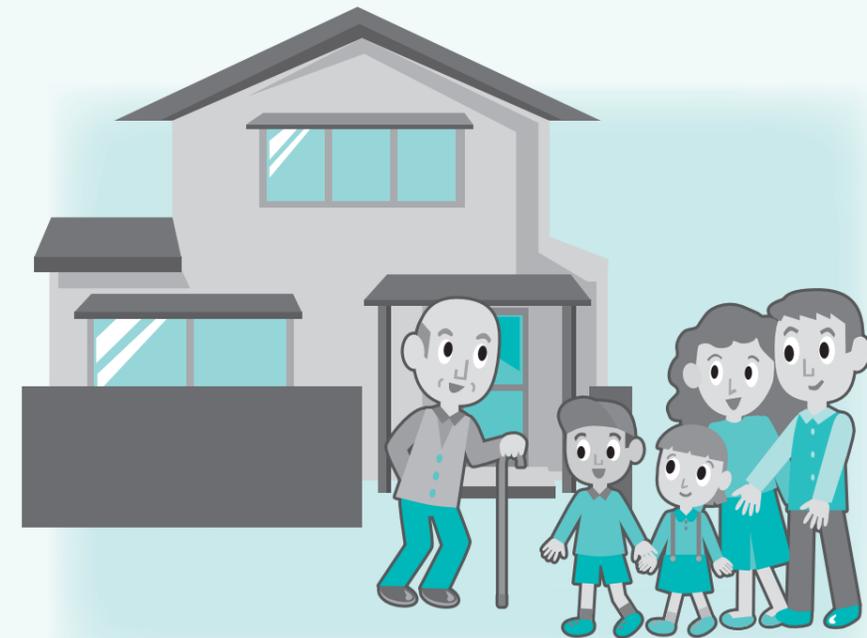
当面の進め方

●先行事例の情報を集め、学ぶとともに、学区や町内でできる方法を考えながら、取組を進めます。

- 区内先行事例の情報収集(活動の経過やどんなことをやってきたか)
- 各学区(安心安全委員会など)への先行事例などの啓発・PR
- 利用可能な支援制度のアドバイス

運動目標

「知らない人(世帯)を減らそう！」



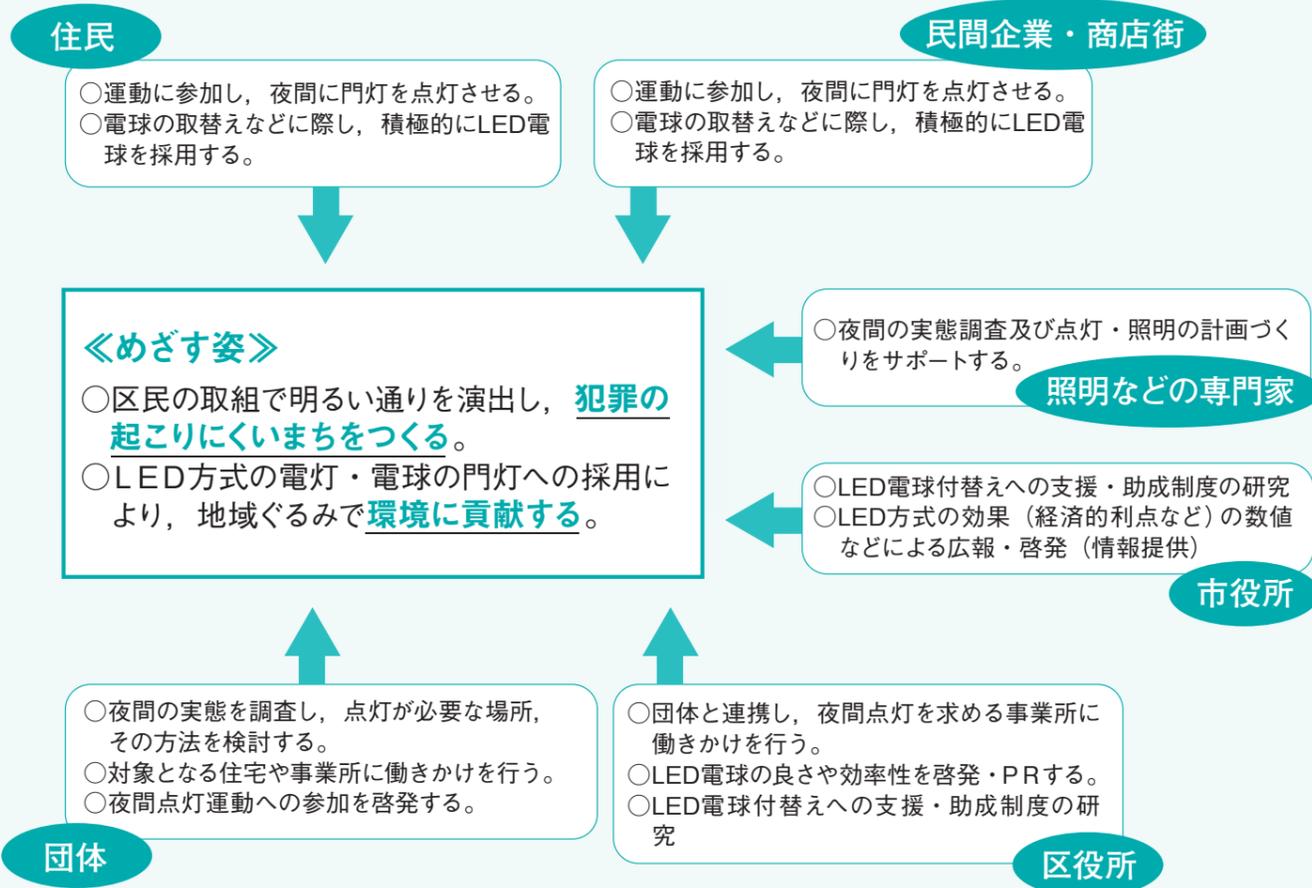
まずやること3

安全で環境に貢献する夜間門灯点灯運動

絆		魅力		伝統		
健康	安心	安全	活力	個性	エコ	人材

- 昼夜を問わず多くの人が集い、行き交うまちとして、夜間も犯罪の起こりにくい環境づくりを住民運動として展開していきます。
- 夜間の通行路などで危険や不安のある場所を調査し、門灯の点灯や事業所の照明で明るい環境をつくり出します。
- 門灯や事業所の照明にLED電球の採用を働きかけ、環境啓発運動としても取り組んでいきます。

だれが何をするか



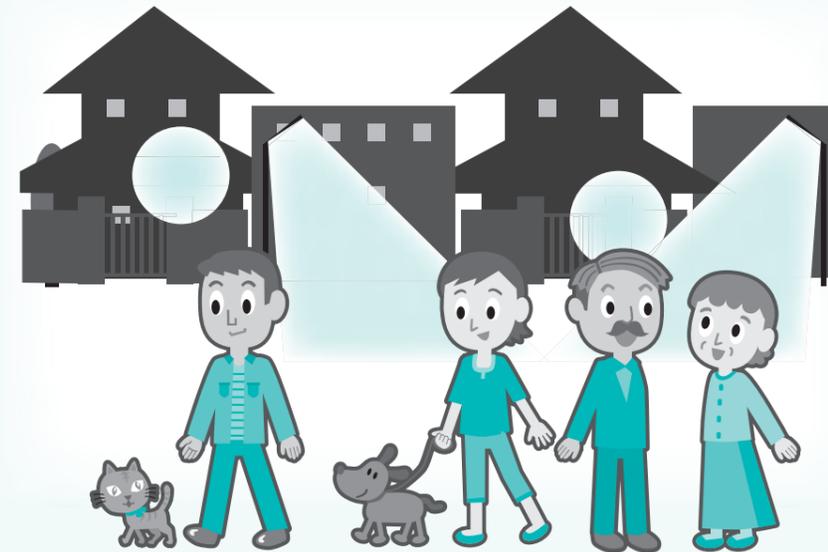
当面の進め方

●モデル地域を募集して、住民や事業者に啓発しながら、区民運動として取組を進めます。

- 夜間点灯運動のモデル地区の選定（手を上げる学区・町内・商店街などとの調整）
- モデル地区における夜間安全状況の調査と計画の作成
- モデル地区での点灯運動の意識啓発・PRと事業所などへの働きかけ

運動目標

「環境にやさしいLED電球をつけて、夜の通りを明るくしよう！」



安心・安全なまちづくりを住民運動として取組みます。



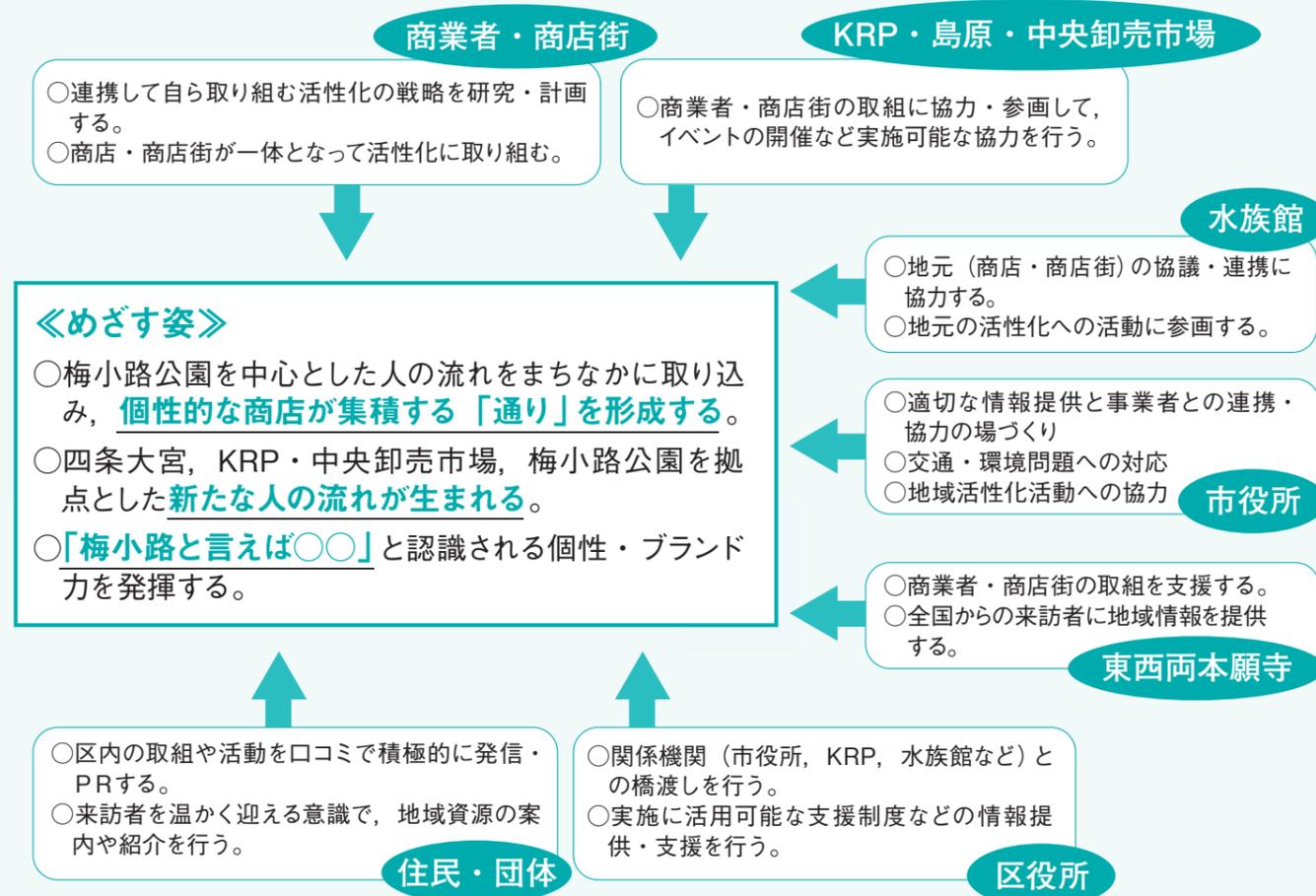
まずやること4

梅小路の賑わいづくり商業者ネットワーク

絆			魅力		伝統	
健康	安心	安全	活力	個性	エコ	人材

- 梅小路公園の再整備によるインパクトを地域活性化に生かすため、梅小路公園を一つの核とした商業者・商店街のネットワークによるまちおこし活動を展開していきます。
- 商業者・商店街の連携による活性化に向けた調査研究や活動計画づくりを促します。
- 大宮通を一つの軸とした南北の「歩くまち」の形成を図ります。

だれが何をするか



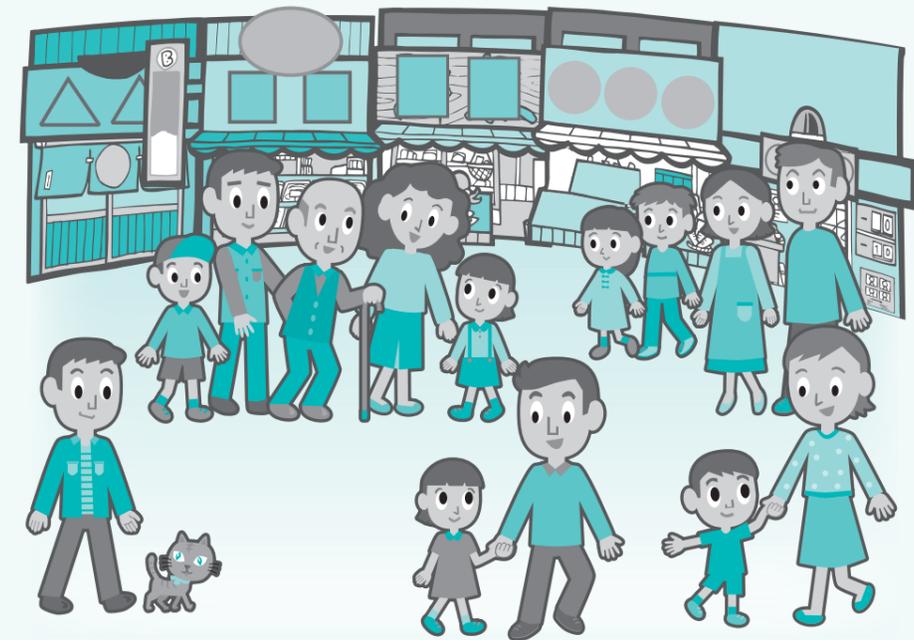
当面の進め方

● 商業者、地域住民、近隣の事業者を中心に、行政も支援するネットワーク組織をつくって、取組を進めます。

- 商業者・商店街による活性化計画策定・運動の促進（「呼びかけ人会」づくり）
- 大学・学生（コンソーシアム京都）との連携によるアイデアづくりの検討
- 東西両本願寺等750回遠忌法要の来訪者をモデルとして、マップ配布など実験的取組の実施

運動目標

「梅小路周辺で新しい賑わいをつくろう！」



梅小路公園を中心にまちおこしを進めます。



まずやること5

歩いて知る, 下京魅力再発見

絆			魅力		伝統	
健康	安心	安全	活力	個性	エコ	人材

- 下京門前町ルネッサンスや区政130周年記念に実施したスタンプラリーの成果を生かし, 歩いてまちの資源や魅力を再発見する取組を実施します。
- 「1 下京歩歩塾」の取組と連携し, 学区やブロックの創意で楽しく歩くための工夫に努めます。
- 地域の文化や歴史, まちの自慢などに改めてスポットを当て, 独自の地域資源マップや学区紹介マップを作成します。

だれが何をするか

住民

- 「歩く活動」に積極的に参加する。
- 知り合いに参加を呼びかける。
- 区内外から訪れる人を温かく迎え, 道案内や地域資源の説明を行う。

民間企業

- 景品やグッズの提供で運営に協力する。
- 従業員の参加を促し, 地域に密着した関係づくりに努める。

《めざす姿》

- 各学区や町内が独自にお勧めルートを設定・案内し, 区民が 地元を学ぶ機会をつくる (地元学習)。
- 子ども, お年寄り, 子育て世代, 新しく入ってくる人など多様な住民が 表に出てふれあうきっかけをつくる。

団体

- 地域資源の探索やマップの作成, 「歩く活動」への参加の呼びかけを行う。

区役所

- 「歩く活動」に関するノウハウを学区や団体に提供する。
- 支援制度を紹介する。

当面の進め方

- 130周年スタンプラリーでの各学区・町内の活動の工夫を共有しながら, どんなやり方ができるか考えていきます。

- 運営・実施に関する方針の検討 (下京区ふれあい事業実行委員会仲間づくり部会)
- 130周年スタンプラリーで提供された各学区資料の収集・整理
- 各学区資料をモデルや教科書とした啓発・PR

運動目標

「わがまちの魅力を再発見しよう!」



歩いてまちの魅力を再発見します。



まずやること6

花と緑の下京回廊づくり

絆			魅力		伝統	
健康	安心	安全	活力	個性	エコ	人材

- ◎ 地域で緑や花を育てている人、緑や花を育てられるノウハウや人脈を持った担い手の、地域における主体的な緑化活動の拡大を促進します。
- ◎ 区民の活動と連携しながら、梅小路公園など新たな観光・交流拠点への来訪者を誘（いざな）う花と緑の回廊づくりを進めます。
- ◎ 学区や町内、通りごとの特色ある「花と緑」の彩りづくりを促進・支援するとともに、情報を発信し、来訪者の区内・市内への回遊を創出します。

だれが何をするか

住民

- 緑化活動に積極的に参加する。
- 知り合い・ご近所に参加を呼びかける。
- まちや通りのコンセプトについて話し合い、合意をとっていく。

民間企業

- 立地する通りや町内の活動に参加・支援する。
- 従業員に参加を呼びかける。

《めざす姿》

- 国際文化観光都市・京都の玄関間にふさわしく、来訪者を花や緑で華やかに迎える環境をつくる。
- エリア（町内など）やルート（通りなど）でまとまって、統一された花や緑のコンセプト（つつじ通り、ひまわり町など）で彩りあふれる景観・環境をつくる。

- 活動を支援・補助・助成する制度の充実。（緑化、花いっぱい運動など）

市役所

- 組織としての活動に積極的に参加する。
- 学区・町内・商店街の住民・事業者への活動のPRや啓発を行う。

団体

- 人の流れを生み出すような住民や企業の活動を戦略的に支援する。
- 活動成果や活動状況を広く広報・PRする。

区役所

当面の進め方

- 緑化や花いっぱい運動に取り組む学区・町内・通りの活動をPRしながら、取組を広げていきます。

- 緑化・花いっぱい運動などに取り組む学区、町内、通り、団体の情報把握
- 上記取組の先行事例の情報発信と、花木育成の指導者（リーダー）の育成
- 「学区・町内・通り」の花木を決めて活動するモデル事業の募集

運動目標

「花と緑でまちを飾ろう！」



区民のみなさんと
緑化活動を
広がっていきます。



7. 計画の推進とチェックのために

1 進捗状況の検証

- 「まずやること」を中心に、3～5年程度で計画を検証します。
(取組や事業内容に固執せず、その時々状況に応じて、目的達成のために最適な方法・事業を柔軟に取り入れる)
- まちづくりのテーマごとにみんなの取組で実現をめざす目標値を設定します。

2 推進体制づくり

- 「町衆フォーラム」をリニューアル（メンバーの充実）し、推進体制の強化を図ります。
- 下京区で取り組む多様な活動・事業に効果的・効率的な「まちぐるみの体制」をつくります。
(新たにつくるだけでなく、既存の事業体制の活用、強化、リニューアル)
- 計画推進への参画・協働を通じて、企画力やコーディネート力を持った区民（人材）を育成します。
- 基金など独自財源の確保を検討します。

3 下京まちづくり先進事例の紹介・活用

- 区内で、特徴的なまちづくりや課題解決の先進的な取組をしている地域・団体の詳細な情報をとりまとめ、他地域や団体が参考にして活用できるよう、情報提供を行います。
- 地域・団体の情報発信媒体として、区役所のホームページを積極的に活用していきます。
- 先進事例を参考に実施するにあたって、それぞれの先進事例からアドバイスが得られるような関係をつくっていきます。

【住民・団体への期待】

- まちづくりに関する成功・失敗例やアドバイスなどの情報を提供
- 他の地域や団体からの要請に応じて、アドバイスや相談に対応

【民間企業への期待】

- 地域との協力やまちづくりを応援している例などの情報提供
- 下京区における地域貢献

【大学や先行事例関係者への期待】

- 新たに取組を行う地域や団体のアドバイザーとして、相談対応や指導

【区役所・市役所の役割】

- 情報の提供の仕方やとりまとめ方のアドバイス
- 他都市の先進事例などの情報提供

4 ワークショップ運営等の人材育成

- 地域の課題を地域で話し合い、みんなで解決のための方法を考えることができるよう、話し合いの方法やまとめ方のノウハウを持った人材（ファシリテーターなど）を育てていきます。
- ワークショップ手法やまちづくりのニュースの発行など、話し合いや情報発信のための体験や研修の機会をつくって、技術の習得を促していきます。

8. 指標

「テーマごとの取組」の達成に向けた目標です。達成状況を評価し、結果が思ったようにいかなかった場合に、「なぜうまくいかなかったのか」、「どうすればうまくいくのか」などを検討するなど、計画を見直す基礎資料として活用します。

目 標	指 標
(テーマ1-1) 健やかな暮らしを地域力で育もう (テーマ1-2) 近所のお付き合いで安心を支えよう (テーマ1-3) 地域力を生かして安全を高めよう	①「歩く」活動・取組のある学区や歩こう会の数、その参加者を増やす ②避難所運営訓練の実施学区を増やす ③各学区におけるマンション住民のイベントなどへの参加度を高める ④刑法犯罪件数を減らす ⑤違法駐輪台数を減らす
(テーマ2-1) まちの活力を高めよう (テーマ2-2) まちの個性を生かし魅力を高めよう	①梅小路を中心とした設定エリア内の商業・サービス店舗数を増やす ②来訪者数を増やす
(テーマ3-1) エゴを捨ててエコ活動しよう (テーマ3-2) 担い手の育ちを支えよう	①環境を意識して生活している区民の割合を増やす ②学区や町内、大学・学生など区内の連携・交流を促す仕組みを増やす

参考資料

下京区基本計画策定委員会 委員名簿

	氏名	所属・役職
学識経験者	仲上 健一	立命館大学政策科学部 教授
	辻田 素子	龍谷大学経済学部 准教授
地域代表	渡邊 洞暁	円卓会議 Aブロック幹事 (光徳)
	平井 常夫	〃 Bブロック幹事 (修徳) (平成20～21年)
	大田垣義夫	〃 Bブロック幹事 (有隣) (平成22年～)
	奥田 正治	〃 Cブロック幹事 (崇仁)
	藤浦 教隆	〃 Dブロック幹事 (西大路)
	橋本トシ子	円卓会議 Aブロック (光徳)
	桑垣千加子	〃 Bブロック (有隣)
	鈴木瑠里子	〃 Cブロック (尚徳)
	竹内 良子	〃 Dブロック (七条)
公募委員	廣瀬 滋	HAS建築研究所 所長
	新保真理子	京都リサーチパーク株式会社
事業者	市村 勝	嶋原商店街理事長
	若林卯兵衛	株式会社若林佛具製作所 取締役会長
下京町衆フォーラム	橋本佳代子	下京町衆フォーラム メンバー
	西川富久子	下京町衆フォーラム メンバー
下京区シルバークラブ連合会	高村 稀典	下京区シルバークラブ連合会 会長
下京地域女性会連合会	金井美佐子	下京地域女性会連合会 副会長
下京区社会福祉協議会	鎌田 高雄	下京区社会福祉協議会 副会長
下京区体育振興会連合会	小巻 實司	下京区体育振興会連合会 会長
下京消防団	前中 彬	下京消防団長
少年補導委員会	篠原 實	五条少年補導委員会 会長
下京区役所	西川 隆善	下京区長

計画策定の経過

開催年月	会議名	審議内容
平成20年12月	第1回下京区円卓会議	各地域の課題について議論
平成21年2月	第2回下京区円卓会議	各地域の課題について議論
平成21年9月	第1回下京区基本計画策定委員会	・次期下京区基本計画策定に係る経過及び今後の進め方について ・下京区の現状・課題と次期計画策定に向けたテーマ設定について
平成21年11月	第3回下京区円卓会議	第1回・2回円卓会議のまとめと策定委員会の協議内容の報告
平成22年1月	テーマ別円卓会議 (3つのテーマごとに開催)	①地域力・福祉・防災
		②京都駅中心の賑わい
		③環境・歩くまちの推進
平成22年3月	第2回下京区基本計画策定委員会	・次期下京区基本計画「素案」について
平成22年7月	第3回下京区基本計画策定委員会	・次期下京区基本計画「素案」について ・次期下京区基本計画策定に向けた市民意見聴取（パブリックコメント）について
平成22年8月20日～9月27日	市民意見（パブリック・コメント）募集	意見受付状況：意見提出者数44名（意見数58件）
平成22年10月	第4回下京区基本計画策定委員会	・市民意見聴取（パブリックコメント）の結果及び対応方針について ・新下京区基本計画実施に当たっての「指標」について ・新下京区基本計画「素案」について
平成22年12月	第5回下京区基本計画策定委員会	・新下京区基本計画「素案」について
平成23年1月	決定	